

教科別授業改善プラン（社会科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・キーワードを使ってノートにまとめることを繰り返し、社会科用語が少しずつ使えるようになってきた。
- ・児童が興味をもち、自分の考えがもてる課題を設定することで、自分の経験、資料、人々の願い、環境など学習したことを関連させて考察し、文章や図で表現できるようになってきた。

(2) 課題

- ・地名に関して地図帳で確認したが、等高線や地図記号の読み取りに関しては授業の中であまり取り上げる機会がなかった。
- ・学習の終わりに、社会科用語を使って学習感想やまとめを書くことにより重要用語を使えるようになったが、定着までには至らなかった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(観点別経年比較)

評価の記号は、平均正答率が目標値を「△…上回っている」「▼…下回っている」「≒…ほぼ同等」

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	観点別 ・知識・技能 ▼ ・社会的な思考・判断・表現 ≒ ・主体的に学習に取り組む態度 ≒		
第5学年	観点別 ・知識・技能 ▼ ・社会的な思考・判断・表現 ≒ ・主体的に学習に取り組む態度 ▼	観点別 ・知識・技能 ▼ ・社会的な思考・判断・表現 ▼ ・主体的に学習に取り組む態度 ▼ (第4学年時)	
第6学年	観点別 ・知識・技能 ≒ ・社会的な思考・判断・表現 ≒ ・主体的に学習に取り組む態度 ≒	観点別 ・知識・技能 △ ・社会的な思考・判断・表現 △ ・主体的に学習に取り組む態度 △ (第5学年時)	観点別 ・知識・技能 △ ・社会的な思考・判断・表現 △ ・主体的に学習に取り組む態度 △ (第4学年時)

(2) 分析

4年	正答率は概ね目標値と同じか、やや下回る項目が見られる。 ○工場の仕事について、生産の仕事の工程を読み取る問題に関しては、12ポイント上回っている。 ●市の様子について、地図を読み取ること（四方位の理解や土地利用の地図記号の理解）が目標値より12ポイント下回っている。 ●市の様子の変り変わりについて、写真や年表、資料を見て、変化について読み取りや判断・表現が目標値より13ポイント下回っている。
5年	正答率は全体的に目標値を下回っている。目標値を5～10ポイント以上下回る正答率を示した項目も多い。 ○特色のある地域の様子について、目標値を上回っている。特に特色ある地域の産業について適切な資料を選択する問題に関しては、高い正答率を示している。 ●くらしをささえる水について、ダム仕組みについて答える問題で目標値より20ポイント下回っている。

	●資料を読み取り記述する問題で、無回答の児童が 20%程度いる。読み取ったことを表現する力をつけていきたい。
6 年	正答率は概ね目標値と同じか、上回る項目、やや下回る項目が見られる。 ○日本の水産業で、水産物の流通の工夫について資料を基に判断する問題では、目標値を 17 ポイント上回っている。 ●日本の食料生産の理解を基に資料を読み取る問題では、目標値より 15 ポイント程度下回っている。 ●自動車をつくる工業で、自動車の海外生産について資料を基に記述する問題では、目標値より 12 ポイント程度下回っている。また、無回答の児童が 20%程度いる。

3 重点課題

3 年	・地図上から、方位や地図記号、土地の様子を読み取ること。 ・地図や資料から調べたこと、分かったことを整理してまとめること。 ・授業で出てきたキーワードを使ってまとめを書くこと。
4 年	・方位や地図記号など地図を読み取るうえで基本的な技能を身に付けること。 ・グラフの軸が示す単位に着目して正しく資料を読み取る力を身に付けること。
5 年	・社会科の重要語句を使って学習感想やまとめが書けるようにすること。 ・資料を丁寧に読み取り、書かれている内容や資料の特徴を正しく理解すること。 ・複数の資料を比較したり、関連付けたりして、資料を総合的に読み取り、記述すること。
6 年	・社会科用語を習得し、重要語句を使って学習感想やまとめが書けるようにすること。 ・普段の授業から、教科書や資料集などの資料を丁寧に読み取る力を付け、書かれている内容を理解し、表現すること。 ・複数の資料を比較したり関連付けたりして、総合的に読み取ること。

4 授業改善策

3 年	・地図帳を使用し、方位や地図記号、土地の高低や土地利用について確認する活動を取り入れる。 ・学習感想やまとめを書く時、授業で出てきた重要語句を使用させ、知識を定着させる。 ・地図帳や資料を読み取る場面を設定する。地図や資料から読み取れることを全体で確認し、ねらいに沿ったまとめをする活動を取り入れる。
4 年	・地図記号と社会科用語は、テスト前にプレテストを行い、確実に理解させる。 ・資料を正確に読み取るために、主に教科書の資料を使って、読み取りの練習を行う。 ・グラフを正確に読み取ることができるようになるまでは、表の軸は何を表しているか、単位は何かなどを先に指導してから、内容を読み取らせる。
5 年	・学習した重要語句を用いて、分かったことを自分の言葉でまとめる活動を設定する。 ・資料を読む際には、読み取りの視点（縦軸は何か、横軸は何か、顕著な変化は何かなど）を繰り返し指導し、正しく資料を読む力を身に付けさせる。 ・複数の資料を扱いながら考える学習も取り入れ、読み取ったことを基に表現する機会を増やす。
6 年	・学習した重要語句を用いて、分かったことを自分の言葉でまとめる機会を増やす。 ・ワークシートやアプリケーションを用いて、日本の工業や食料生産について復習を行い、理解を深める。 ・資料の読み取りが正確にできるよう、読み取りの視点を明確化し、必要な情報を収集できる力を身に付けさせる。
各学年 共通	・既習の事項がしっかりと身に付くよう、アプリケーションやワークシートなどを活用する。 ・総合的に資料を読み取り、考えたことを記述する機会を増やす。